

| | | |
|-----------|---|---|
| 科目名 | スポーツと現代社会 | |
| 担当者 | 羽生 節子 / HABU, Setsuko | |
| 科目情報 | 教養科目 3群 / 選択 / 前期または後期 / 講義・演習 / 2単位 / 1年次 | |
| 科目概要 | 授業内容 | 健やかな生き方を求め、趣味・健康管理としてのスポーツが幅広く行われるようになり、自治体、民間を問わず施設やクラブづくりが盛んだ。授業では、これらの変化に関するテーマをグループごとに決め、学内外で実践を重ねて考察し発表する。 |
| | 到達目標 | 健康管理としてのスポーツを学び、高齢化、核家族化社会でのスポーツの移り変わりを理解する。 公営、市営を問わず増加するスポーツ施設を調査することによって、その背景、環境の変化を学ぶ。 |
| 授業計画 | (1) ガイダンス (2) スポーツ概論（I） (3) スポーツ概論（II） (4) グループの編成：ワークシート、探求地図を用いてテーマを探す (5) グループ別ディスカッション：テーマ設定 (6) テーマ決定：課題、問題意識を示す (7) 研究方法（例 ウォーキングの実践）アンケート作成 (8) 研究内容計画作成 (9) 学内の施設（体育館、図書館等）において実践 (10) 中間発表・討論 (11) レポートの書き方、指導案作成、アンケート集計 (12) プрезентーションの仕方、資料準備 (13) 発表 (14) 発表 (15) 総まとめ | |
| 自学自習 | 事前学習 | テーマに関連する資料や情報収集。 意味のわからない用語は辞書等で事前に調べておくこと。 |
| | 事後学習 | テーマに基づいた実践等。発表、提出物の作成他。 |
| 使用教材・参考文献 | 【教】 使用しない。最初の授業時プリントを配布する。 【参】 授業中にその都度紹介する。 | |
| 成績評価方法と基準 | <基準>発表・討議への参加とレポート提出を合格とし、いずれか欠くと不合格。 <方法>出席態度（60%）発表・討議（20%）学期末レポート提出（20%）など総合的に評価する。 | |
| 備考 | 教員が指示する『読書』課題の遂行を、受講生の成績評価に加味、あるいは成績評価を受けるための前提とする。詳細は、初回の授業で説明する。 | |